

○琉球のアフリカコマツナギ (大橋広好) Hiroyoshi OHASHI: Notes on *Indigofera spicata* naturalized in the Ryukyus

国立科学博物館植物研究部中池敏之博士から、沖縄県西表島竹富町船浦の草原で同氏が1985年11月5日に採集したコマツナギ属の一種について同定を求められた。調べたところ、*Indigofera spicata* Forsk. であった。わが国では既に知られていて、アフリカコマツナギと名付けられ、*I. hendecaphylla* Jacq. という学名が用いられている。琉球では緑肥として記録されており、Walker (1976) には沖縄島国頭から採集された標本が引用されている。和名は、この植物がアフリカ原産であることによるもので、初島・天野、沖縄植物目録 47 ページ (1958) で、初めて報告された。

一方、台湾にも、この植物は帰化している。台湾での植物学的な記録は Chuang & Huang (1965) によるものが最初であり、*I. endecaphylla* Jacq. に当てられた。その後、Flora of Taiwan 3巻のマメ科 (1977) では、本種の正しい学名を図と共に載録している。今日では台湾各地に野生化している。

この植物は、本来、スーダン、エリトリア、エチオピア、ソマリア、ケニア、タンザニアなどの東アフリカとアラビアに自然分布するものであるが、現在では世界の熱帯から亜熱帯の平地から低山地にかけて広く帰化している。

この機会に、学名と東アジアでの文献を整理すると以下ようになる。

Indigofera spicata Forsk., Fl. Aegypt. Arab. 138 (1775). Gillet in Fl. Trop. East Africa, Legum. 3, Papilion. 317 (1971). Huang & Ohashi, Fl. Taiwan 3: 305, pl. 600 (1977). Ohashi et al. in Sci. Rep. Tohoku Univ. 4 ser. (Biol.) 38: 316 (1984); l. c. 39: 62 (1985).

I. hendecaphylla Jacq., Coll. Bot. 2: 358 (1789) & Icon. Pl. Rar. t. 570 (1788-9). Merr., Enum. Philip. Fl. Pl. 2: 275 (1923). Hatusima & Amano, Fl. Okinawa 47 (1958); ed. rev. 50 (1967). Walker, Fl. Okinawa 560 (1976).

I. endecaphylla Jacq. sensu Lam., Encycl. Suppl. 3: 147 (1813). Chuang & Huang, Leg. Taiwan Pasture 59, t. 82 (1966).

Specim. exam.: Japan. Okinawa Pref., Isl. Iriomote-jima, Taketomi-cho, Funaura, alt. 70 m, in open grassland. Flowers pink, prostrate herb. (Toshiyuki Nakaike Nov. 5, 1985. TNS, TUS).

おわりに、標本をお送りいただいた中池氏にお礼申し上げます。

(東北大学 理学部生物学教室)